



# 新しいテクノロジーで、世の中をデザインしよう！

情報流通行政局  
放送政策課長

**飯倉 主税** IIKURA Chikara

平成 7年 4月 郵政省採用  
同 大臣官房人事部能力開発課  
平成 7年 7月 同 放送行政局有線放送課  
平成 9年 7月 米国留学(南カリフォルニア大学)  
平成 10年 7月 科学技術庁研究開発局宇宙政策課調査国際室  
平成 13年 1月 総務省郵政企画管理局総務課調整係長  
平成 13年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課課長補佐  
平成 16年 7月 同 近畿総合通信局放送部有線放送課長  
平成 17年 8月 和歌山県企画部IT推進局情報政策課長  
平成 19年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐  
平成 19年 8月 総務副大臣秘書官  
平成 20年 8月 総務省情報流通行政局地上放送課課長補佐  
平成 23年 9月 同 情報流通行政局総務課統括補佐  
平成 24年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部  
電気通信技術システム課企画官  
平成 24年 12月 総務大臣秘書官  
平成 26年 9月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課  
電気通信利用者情報政策室長  
平成 27年 7月 同 情報流通行政局地上放送課企画官  
平成 28年 6月 同 情報通信国際戦略局情報通信政策課調査官  
平成 29年 9月 同 情報流通行政局情報通信政策課調査官  
令和 2年 7月 同 情報流通行政局情報流通振興課長  
令和 3年 7月 現職

## 便利な世の中になったもんだ

僕が就職した1995年と比べると、生活も働き方もひっくり返って「世の中」が大きく変わった。音楽もドラマもサブスク全盛、外出しても財布は不要、PCは持ち帰りOKでいつでもどこでもテレワーク。夏は誰もネクタイしない、時差出勤・男性の育児休暇当たり前、会議はオンライン。

今はつくづく便利になったと思う。昔の話をすると年とったなーと思うけど、昔は何がなんでも9:30にネクタイして出勤、金曜に仕事が終わらなければ土日に出勤、そこで上司につかまった日には仕事が進まない！今の時代なら、僕が服装であれだけおこられることはなかっただろう。笑

## 情報通信基盤や情報空間を、時代にあわせてアップデート

新しい技術がうまれると世の中が変わる。僕らの仕事は新しいテクノロジー＝情報通信技術をつかって世の中をアップデートすること。光ファイバや5Gの情報通信基盤をデザインしたり、放送を含めて情報空間をデザインしたり。手段は研究開発だったり、法律・制度だったり、予算だったり。

目の前にある世の中も制度もちゃんと理由があってそうになっている。でも、変わらない倫理観や価値観がある一方で、その他の多くのものは変わっていく。インターネットという新しい技術がうまれて、スマホという新しいデバイスがうまれて、世の中は大きく変わりつつある。多分これからもますます変わっていく。

この国の情報通信基盤だったり、情報空間だったり、ほうっておいても素敵な未来があるならいいけど必ずしもそうでもない。民間企業の方とあるべき姿を共有して、それに向かって法律・制度をアップデートしていくこと、それが僕らの仕事。

## 10年後の世の中を一緒にデザインしよう！

21世紀になった頃、情報通信分野の最大の課題は、競争ルールによる早くてふといネットワークの構築、そしてよいサービスが国民に提供されること。当時はよく分からなかったけど、初任の課長補佐として制度のアップデートを担当していたんだと思う。日本のインターネットは遅かったけど、段々と改善された。毎日大変だったけど、毎月公表されるADSL(少し古いか)の加入者数をみるのが好きだった。

目の前にある世の中も制度も、10年後は今のままじゃない。それをデザインしたいと思う人、一緒にはたらこう！とはいっても、仕事は人生の一部！「ワークライフバランス」という言葉は何か変。人生を大切にすると一緒に働きたいです！



しまなみ海道へ家族旅行



別府のホテルでテレワーク(僕のふるさは大分県)

## 若手職員の声



総務省情報流通行政局  
放送政策課

**上田 周佑**  
(令和4年入省)

放送政策課は、放送法をはじめとする放送制度の整備や運用を担っています。中でも私が携わる法令改正業務は、放送を取り巻く環境の変化に対応すべく、今後の放送の在り方を見据え、法令の改正によって必要な制度改革を実行していく仕事です。

飯倉課長は放送の将来像について明確なビジョンを示してくださると同時に、常に部下の働き方や課内の雰囲気や気を配ってくださっています。課長の一言で課内が笑いに包まれることもしょっちゅうです。私も課長のような将来への洞察力と気配りの心を兼ね備えた行政官を目指し日々努力しています。

## PROJECT デジタル時代における 放送制度の在り方

かつて、放送・テレビは、情報空間の王者だった。ブロードバンドが普及し、スマホが誕生し、若者のテレビ離れが進み、今は大きく様変わりした。とはいえ、放送は、社会の基本的情報の提供、多様な価値観・相互理解、公衆の包摂・形成など、民主主義にはかけがえのない役割を果たしていると感じている。

「放送」というものがこれからどういう形に進化していくのか分からないけど、放送が果たしている役割がこれから先も果たされるよう、放送制度をアップデートするプロジェクトを進めている。本当は更に進んで、10年後の情報空間全体をデザインしたい。

早稲田大学の三友先生ほか、各界の多くの有識者の方に参加いただいて、そして、上田君をはじめ、うちの課の素晴らしいみんなと一緒に、「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」で将来像を検討している。詳しくはHPみてください！

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/kenkyu/digital\\_hososeido/index.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/digital_hososeido/index.html)